ントスルモノデアル、該法案ハ時流ニ反シテ現代ノ特權階級ヲ擁護スルニハ可ナランモ我々ニトリテハ脅威デアル。

帝國議會、樞密顧問官、國務大臣、裁判所等ニツキ是非ノ議論ヲナス時ソコニハ政体變革ニ關係スル所ナキヤ、往年副島博士ノ樞、貴、改革論ハ當ニ治安法ノ第三條ニ該當スルモノデアル立憲法治國ニ於テハ言論、集會、結社ノ自由ヲ認メラル、事ニヨリテコソ光輝燦然タルヲ得ルモノデアル、然ルニ該法案ハ現在ノ特權階級ヲ固メ貧民階級ヲ潰滅セントスルモノト云ハレテモ仕方ナキモノデアル、殊ニ私有財産云々ノ條文ニ至リテハ言語同斷デアル、埋堀權ヲ例ニトレバ之ハ法規上ニ於テ明カニ私有財産權ヲ否定スルヲ根據トシテ制定セラレタルモノデハナイカ、亦建築物ニ於ケル都市計畫法、土地收用法、枚擧ニ暇アラズノ感ガアル、時勢ニ逆ヒ所有權ヲ絕對化シヤウトスルモノニテ該法案ハ憲法、民法ヨリ以上ノ權力ヲ與フルモノト斷定セラ

財團法人協調會大阪支所